

行政視察内容報告書



平成 29年 3月 16日

土佐清水市議会議長

仲田 強 様

会派名 清友会

(提出者) 氏名 細川 博史



下記のとおり報告します。

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	仲田強、森一美、浅尾公厚、田中耕之郎、細川博史 <div style="text-align: right;">計 5 人</div>
期 日	平成 29年 1月 16日 から 29年 1月 18日 まで
【概 要】 (年月日・場所・内容)	
<p>○ 視察先：「大津市議会」</p> <p>○ 議 題：議会BCPについて</p>	
<p>大津市議会事務局職員より説明を受けた。</p> <p>大津市議会では、全国に先駆け、同志社大学の新川氏の協力のもと、災害時などに行なうべき議会・議員の役割や行動などを定めた議会BCPを策定している。これにより、大規模災害時において初期対応の高度化が図られ、災害情報の収集や議員の参集、議会としての協議、審査を迅速に開始することで自治体として市民ニーズを的確に反映した復旧・復興を早期に図る事が可能となると考えられる、とのことであった。</p> <p>本市においても予算執行は、議会の議決が必要である。災害時に議会運営が行えず行政が回らないとなると、一層市民の混乱をきたすことに繋がる。災害が発生した際には、地域を守ることが一番大事であるが、議員として議会としての立ち位置についてもしっしっかり確立させ、議会BCPに取り組む必要があると考える。</p> <p>また、大津市議会では、議会BCPの訓練を行う中で、新たな課題や検討が出てきたとのことである。これが正解であるという確証は無く、訓練をしても不都合がでてきたり、訓練だけなら出来ることも、実際災害が発生したら出来ないという事もある。メリット・デメリットをしっかりと考え、模索しながら行政と市民を取り持つ役割として議会が出来ることを考えていくべきである。</p>	

○ 視察先：「土佐清水ワールド」

○ 内 容：土佐清水ワールドの現状

土佐清水ワールドの店長より説明を受けた。

現在、土佐清水ワールドでは、予約を入れないと入店出来ないほどの盛況である。店の中央のいけすには、土佐清水市より直送で魚が届いており、都会の人をはじめ、清水から都会へ出てきている人にもクチコミで広がり現在の盛況へと繋がっている。

お店へ来た人が、土佐清水でも現地の美味しい魚を食べたいと思い、1度土佐清水市へ足を運んでくれると、更においしいものがたくさんある。また来たい！と思ってもらえると、ますます土佐清水市の発展にも繋がる。そういう地産外商面においても、土佐清水ワールドは土佐清水市のPRをしてくれて本当にありがたいと思っている。これからも土佐清水の情報発信の拠点として、おいしい魚を供給していただきたいと思う。